

上荘小学校で井上慶太九段が将棋授業

神戸新聞

2021.6.12

加古川市在住のプロ棋士、井上慶太九段(57)が11

加古川・上荘小で井上慶太九段 将棋の魅力 授業で伝え



大盤を使って将棋を教える井上慶太九段(左)=上荘小学校

日、上荘小学校(同市上荘町都染)の3年生25人を対象に将棋の授業をした。大盤などを使い、駒の並べ方や動かし方を解説。児童同士で対局する時間もつくり、将棋の魅力を伝えた。将棋に親しみ、「棋士の

まち加古川」に愛着を持ってもらおうと、市などが主催。2021年度は同小と平荘小学校(同市平荘町山角)で計画し、井上九段は2日に平荘小でも1回目の授業をした。22、23日には両校で2回目を行う。

上荘小の授業では、将棋は古代インドのボードゲームを起源とし、徳川家康も好んで興じた歴史が紹介された。児童は赤や黄色のマグネットを使い、「歩」や「桂馬」などの駒が移動できる範囲を確認した後、2人1組になって対局を始めた。井上九段は「持ち駒は使うタイミングが大事やで」「絶妙な手やな」と声を掛けた。

中西映人君(8)は「井上九段がかっこよかった。駒の動かし方をもっと勉強する」。井上九段は「将棋に接している子が多くて驚いた。将棋は決断する力を養える。この中からプロ棋士が出たら最高ですね」と話した。(千葉翔大)

加古川人「加古川に移り住んでから、とんとん拍子に昇段できました」

将棋棋士(九段)|井上慶太さん

https://www.city.kakogawa.lg.jp/kakogawa_life/yomu/kakogawa_jin/30571.html

加古川市に住み、「かこがわ将棋プラザ」で開催する将棋道場「加古川将棋倶楽部」の責任者として、多くの人に将棋の魅力を伝える井上慶太九段。井上九段をはじめ、多くのプロ棋士を輩出する「棋士のまち加古川」の魅力とは？

勝利を引き寄せた加古川の豊かな自然

平成4年(1992)、結婚して新居を探していたとき、偶然、加古川のマンションに当選したのが移り住むことになったきっかけです。加古川は自然が豊かで、家の周りには田んぼがあり、鳥や虫の鳴き声も聞こえるので、すごく気持ちが安らぎますね。